

# 1. 所 外 活 動

## A. 衛生教育実績一覧

科名		月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ウイルス科	回数												1		1
	対象人員												20		20
成人病科	回数		1		4	3	1	2	5	2	1				19
	対象人員		45		252	153	100	78	530	69	130				1,357
母子衛生科	回数	3	1		2	2	1		2	4	3	1	1		20
	対象人員	160	60		460	250	250		360	184	162	120	30		2,036
栄養科	回数	1	2	2	2	2	2	3	2	2	2	3	4		27
	対象人員	250	170	360	160	65	380	360	350	130	400	150	370		3,145
合計	回数	4	4	2	8	7	4	5	9	8	6	5	5		67
	対象人員	410	275	360	872	468	730	438	1,240	383	692	290	400		6,558

- 1) ウイルス科……食品衛生に関する指導。
- 2) 成人病科……脳卒中などいわゆる循環器疾患に関する検診、管理などの指導にあたる。
- 3) 母子衛生科……母子保健指導ならびに保健管理、乳幼児の精神衛生、学童の健康などの指導にあたる。
- 4) 栄養科……食生活、栄養と健康管理などの指導教育にあたる。

## B. 昭和56年度保健所試験検査技術職員研修実績

年月日	研修項目	対象・参加人員	場 所	担当部(科)・講師
56・6・18 ～6・19	ウイルス検査の概論	保健所細菌検査技術職員 13名	衛生科学研究所	森田
	ウェルシュ菌の分離・同定	同上	同上	細菌科 庄司, 山脇, 斉藤
※ 56・6・25 (7・2) ～6・26 ～(7・3)	食品中の重金属 (カドミウム)	保健所理化学検査技術職員 13名	衛生科学研究所	理化学部 今野 食品衛生科 鈴木, 伊藤, 柴田
57・2・4 ～2・5	ウイルス性疾患の検体採取 と搬送	保健所細菌検査技術職員 12名	衛生科学研究所	ウイルス科 佐藤
	キャンピロバクター・ジェ ジュニの分離・同定 サルモネラの分離・同定	同上	同上	森田 細菌科 庄司, 山脇, 斉藤
57・2・18 ～2・19	食品中の重金属(砒素)	保健所理化学検査技術職員 13名	衛生科学研究所	理化学部 今野 食品衛生科 鈴木, 伊藤, 柴田

※ 対象職員を2回に分けて研修した。

## C. 学会発表・他誌掲載

### 細菌科

- 1) 第35回日本細菌学会東北支部総会, 昭和56年9月, 秋田市, 「感染症におよぼす気象の影響」, 森田, 高山, 近藤
- 2) 第35回日本細菌学会東北支部総会, 昭和56年9月, 秋田市, 「A群溶連菌T-12型M抗原のPHAについて」山脇, 斉藤, 庄司, 茂木, 森田, 天野, 石田
- 3) 第35回日本細菌学会東北支部総会, 昭和56年9月, 秋田市, 「A群溶連菌 *S. pyogenes* の群別化について」森田, 山脇, 斉藤, 庄司, 茂木
- 4) 感染症学雑誌, 56(1), 26-36, 1982「溶連菌感染症とA群溶連菌に関する疫学的研究, 特に, A群溶連菌の群別について」, 森田, 山脇, 斉藤, 庄司, 後藤, 岡村, 長沼, 鈴木, 熊谷, 石田

### ウイルス科

- 1) 第35回日本細菌学会東北支部総会, 昭和56年9月, 秋田市, 「咽頭炎などから分離したパラインフルエンザウイルス感染状況」, 原田, 佐藤, 後藤, 高山, 森田, 天野, 田代, 本間
- 2) 昭和56年度日本獣医公衆衛生学会東北支部総会, 福島市「J E V侵襲に及ぼす気象の影響に関する研究一気象からのJ E V侵襲規模の推定一」森田, 庄司, 後藤, 妹尾
- 3) 昭和56年度秋田県環境保健業務研究発表会, 秋田市, 「1978年以降秋田県に流行した手足口病の病原ウイルスの変遷とその疫学的調査成績について」, 佐藤, 原田, 高山, 森田

### 衛生化学科

- 1) 1981年度日本地球化学会年会, 昭和56年10月, 清水市, 「県内地熱地帯における鉱泉中の<sup>222</sup>Rn, <sup>226</sup>Ra 含量について」武藤, 高橋, 勝又,
- 2) 第23回環境放射能研究成果発表会, 昭和56年12月, 千葉市「秋田県における放射能調査」勝又, 川村, 高橋, 武藤

### 環境衛生科

- 1) 日本分析化学会第30年会, 昭和56年10月, 京都市, 「黒鉛炉原子吸光法における検量線法の検討一血液試料の場合一」小林, 三島
- 2) 昭和56年度秋田県環境保健業務研究発表会, 昭和57年3月, 秋田市, 「県内水道水中のトリハロメタン (THM) について」高橋

### 成人病科

- 1) 第18回全国衛生化学技術協議会, 昭和56年10月, 新潟市, 「国民健康づくり運動への全国衛生化学技術協議会の取組み」一地方衛生研究所の立場から一児島
- 2) 第40回日本公衆衛生学会総会, 昭和56年10月, 名古屋

市, 「地域・職域別にみた血清脂肪酸構成」(第一報) 沢部, 船木, 高桑, 吉田, 児島

- 3) 第40回日本公衆衛生学会総会, 昭和56年10月, 名古屋市, 「秋田農村住民の血清脂肪酸構成と摂取脂肪との関連について」(第2報) 高桑, 船木, 沢部, 吉田, 児島
- 4) 第40回日本公衆衛生学会総会, 昭和56年10月, 名古屋市, 「脳卒中発生要因の基礎的検討(脳出血発症例の赤血球膜コレステロール)」寺尾, 小西, 中西, 土井, 内藤, 飯田, 児島, 伊藤, 海塩, 嶋本, 小町
- 5) 第40回日本公衆衛生学会総会, 昭和56年10月, 名古屋市, 「生活環境の異なる諸集団における近年の血圧の推移に関する基礎的検討」嶋本, 小町, 飯田, 小西, 土井, 中西, 内藤, 寺尾, 谷垣, 児島
- 6) 第40回日本公衆衛生学会総会, 昭和56年10月, 名古屋市, 「超音波心臓検査の循環器集団検診に果たす役割」(第3報) 中西, 土井, 小西, 高山, 寺尾, 内藤, 飯田, 児島, 嶋本, 小町
- 7) 第40回日本公衆衛生学会総会, 昭和56年10月, 名古屋市, 「脳梗塞の発生要因の検討(フィールドにおける心房細動の発生と脳梗塞発症との関連)」小西, 飯田, 土井, 中西, 寺尾, 内藤, 児島, 伊藤, 海塩, 嶋本, 小町
- 8) 第3回全国地域保健婦学術研究会, 昭和56年11月, 仙台市, 「循環器精密検診未受診者の検討」吉田
- 9) 第262回メディカルセミナー, 昭和56年7月, 東京都, 「高血圧・脳卒中の予防食を中心の一」児島
- 10) 総合臨床 Vol. 30 No. 7 (1981/7) 循環器病のリスクファクター「高血圧」, 嶋本, 谷垣, 土井, 上島, 小西, 飯田, 児島, 小町
- 11) 昭和56年度秋田県環境保健業務研究発表会, 昭和57年3月, 秋田市, 「脳卒中発症時の自覚症状と受療経過」吉田

### 母子衛生科

- 1) 第28回日本小児保健学会, 昭和56年9月, 札幌市, 「乳幼児の食塩摂取状況」, 伊藤, 石塚, 菊地, 石川
- 2) 昭和56年度厚生省心身障害研究報告, 昭和57年3月, 東京都, 「秋田県における乳幼児健診の事後管理の運びに関する研究」, 伊藤, 石塚, 佐藤

### 栄養科

- 1) 第28回日本栄養改善学会, 昭和56年9月, 前橋市, 「低塩栄養指導による効果に関する研究(第4報) 食塩10g水準に到達した小集団の諸変化」, 石田, 菊地, 石川, 成田, 斎藤, 川名, 林
- 2) 第28回日本栄養改善学会, 昭和56年9月, 前橋市, 「低塩栄養指導による効果に関する研究(第5報) 指導開始年次による食塩摂取量の推移」, 菊地, 石川, 成田,

齋藤，林

- 3) 第28回日本栄養改善学会，昭和56年9月，前橋市，「秋田県保育所給食食塩の地域差に関する研究（第1報）食塩および栄養素・食品郡別給与量」，猿田，熊地，菊地，石川，栗盛
- 4) 第2回日本臨床栄養学会，昭和56年10月，東京都，「ヘモグロビン値と栄養素および食品摂取との関係」，菊地，石川
- 5) 第46回日本民族衛生学会，昭和56年10月，東京都，「DHEA-Sと身体状況の関連に関する研究」豊川，成田，丸井，松村，菊地，大沢
- 6) 秋田県農村医学会第56回学術大会，昭和57年2月，秋田市，「秋田県みそ汁の栄養学的検討」菊地
- 7) 国際シンポジウム・第2回日韓臨床栄養シンポジウム，昭和57年3月，東京都，「日本人の食塩摂取について」菊地
- 8) 「健康づくり食事事典・塩分のとりすぎをふせぐ食事」保健同人社，1981，（菊地）
- 9) 「食生活研究2・秋田県における食塩摂取量の変遷」

第一出版株式会社，1981（菊地）

10) Kewpie News, 93, 1-19, 1981, 「低塩運動の現状と今後の課題・北から低塩キャンペーンについて」(菊地)

#### D. 共同事業

##### 衛生化学科

科学技術庁委託研究

「秋田地区放射能測定調査委員会報告書」

##### 成人病科

厚生省循環器病委託研究

「地域における脳卒中予防対策の評価方法に関する研究」(新規)

##### 母子衛生科

1) 厚生省心身障害研究，「母子保健・医療に関する管理体系システム開発に関する研究」（継続）

## 2. 試 験 検 査

### A. 一般依頼検査

#### 1) 総 括

検 査 項 目	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計件数	
	単価														
血清学的検査	ワッセルマン反応検査	280	2	1			1		1	5	4	2	1	17	
	沈降(ガラス板法) "	140						17						17	
	ウイルス血清 "	720	69	127	440	566	319	123	41	27	44	52	52	50	1,910
	食中毒の菌	880						6							6
	チフス・パラチフス赤痢等の菌検査	1,200					1		1						2
食品添加物の試験検査	食品中の添加物の定性検査(無)	1,000						1		6				7	
	" (有)	1,500		14	1			1		12			9	37	
	" の定量検査(無)	1,500								9			3	12	
	" (有)	2,500													
	その他の食品の成分規格検査	2,000					10		1	1	10			22	
	器具容器包装又はこれらの原材料の規格検査	8,000													
	その他の食品添加物の定量検査(無)	2,000	6	2		6			1		2		10	7	34
	" (有)	10,000													
	食品の栄養学的試験	3,500	3			2	1		21				11		38
	ビタミン類	3,000			5			2			2				9
水質化学試験	タール色素の製剤の製品検査	29,000								1				1	
	かん水の製品検査	6,100		5		6		6		10		10		37	
	水道水及び飲料水の精密検査	12,500			33	37	32	38	9	51	34		7	241	
温泉分析	飲料水の項目別検査定量分析	600			33	37	32	38	9	51	34		7	241	
	水素イオン濃度指数検査	300													
	有害物質含有量検査	3,500													
合 計	温泉(中分析)定量分析	45,000	2		1		4		2	1		4	1	15	
			78	143	446	574	330	125	83	28	85	52	73	69	2,086
		4	6	67	80	70	88	22	119	72	6	26		560	

上段は、当所歳入となるもの

下段は、当所歳入とならないもの、又は歳入をとまわらないもの

2) 実績

ウイルス科

表1. 風疹血清学的試験検査実績

検査項目	月別												計
	S56 4	5	6	7	8	9	10	11	12	S57 1	2	3	
免疫保有	80	114	418	560	314	120	38	26	40	47	43	47	1,847
病原診断	1	13	22	6	3	3	3	1	4	5	9	3	73
合計	81	127	440	566	317	123	41	27	44	52	52	50	1,920

表2. 梅毒血清反応検査実績

検査項目	月別												計
	S56 4	5	6	7	8	9	10	11	12	S57 1	2	3	
梅毒	2		2					18	2	7		3	34

食品衛生科

表1. 食品試験実績

品名	検査項目	規格試験		食品中の添加物試験				その他	計
	検体数	製品	添加物等	漂白料	保存料	人工甘味料	着色料		
かん水	37	37							37
タール色素製剤	1	1							1
ケイソウ土	22		22						22
醤油	6				6	3			9
味噌	4			4					4
山菜加工品	16			3	27		1	12	43
食事	13							13	13
漬物	4				4	4	4		12
玉子加工品	5							10	10
計	108	38	22	7	37	7	5	35	151

注：ケイソウ土の規格試験のうち1件が不適であった。

表2. 栄養学的成分試験実績

品名	検体数	試験項目									計
		V.B <sub>1</sub>	V.B <sub>2</sub>	V.C	水分	粗蛋白	粗脂肪	粗繊維	糖質	カロリー	
清涼飲料	3				3	3	3	3	3	3	18
麦加工品	3	3	3								6
山菜加工品	2				2	2	2	2	2	2	12
糯米加工品	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
大豆加工品	11				11	11	11	11	11	11	66
卵加工品	5				5	5	5	5	5	5	30
日常食	16				16	16	16	16	16	16	96
計	42	4	4	1	38	38	38	38	38	38	237

注：日常食の試験は健康調査に基づく依頼である。

衛生化学科 温泉分析結果

分析番号	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543
湧出地	湯沢市成沢字糸細沢	雄勝郡秋の宮山居野11-64	北秋田郡比内町大貫字金山沢5	由利郡烏海町猿倉字湯の谷91	本荘市三川字湯の谷1	鹿角市八幡平字熊沢国有林林内	鹿角市八幡平字熊沢国有林7林班い小班	鹿角市八幡平字熊沢国有林7林班い小班	仙北郡協和町船岡字庄内下山袋89-2, 90-1	河辺郡雄和町神ヶ村字大黒沢	仙北郡田沢町湖生保内字小先達155
試験年月日	S.56.4.2	S.56.4.22	S.56.4.17	S.56.4.28	S.56.6.26	S.56.8.18	S.56.8.19	S.56.8.19	S.56.9.9	S.56.9.9	S.56.9.9
泉温	9.5	69.0	42.0	47.5	18.0	54.0	96.0	88.0	44.0	13.5	42.0
気温	18.5	15.0	10.5	15.5	23.5	25.0	26.0	26.0	19.0	17.5	6.0
PH	7.1	8.2	9.1	8.5	7.4	6.8	8.2	8.0	8.7	9.1	8.3
蒸発残留物	144.0	1,203	2,214	3,099	10,190	501	1,084	1,078	2,334	214	1,130
H <sup>+</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Li <sup>+</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Na <sup>+</sup>	19.0	372.0	100.6	1,240	3,740	30.3	224.1	235.0	299.7	69.0	404.0
K <sup>+</sup>	2.8	42.0	3.5	7.7	115	8.9	15.5	17.6	4.1	0.6	6.0
NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	—	—	1.6	—	—	0.2	0.2	0.3	0.3	—	0.2
Mg <sup>2+</sup>	6.3	1.9	24.3	7.8	25.0	9.1	1.4	0.9	9.7	1.5	1.5
Ca <sup>2+</sup>	22.8	28.9	421.1	2.4	75.8	71.1	30.7	20.6	304.8	1.6	4.0
Sr <sup>2+</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Ba <sup>2+</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Al <sup>3+</sup>	—	—	—	—	0.2	0.1	0.2	0.1	—	—	—
Ca <sup>6+</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.8	—
Mn <sup>2+</sup>	0.2	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Fe <sup>2+</sup>	0.5	0.1	0.4	—	0.1	0.3	—	—	—	—	—
Fe <sup>3+</sup>	—	—	—	—	1.5	1.6	0.2	0.1	—	0.6	0.3
Cu <sup>2+</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Zn <sup>2+</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
F <sup>-</sup>	0.1	1.1	3.3	2.1	0.3	0.3	4.1	4.3	2.4	0.1	8.8
Cl <sup>-</sup>	24.8	593.9	115.2	904.2	5,666	10.6	260.6	246.4	152.5	24.8	221.6
Br <sup>-</sup>	0.1	1.2	0.2	4.4	37.2	0.1	0.4	0.3	0.4	0.2	0.4
I <sup>-</sup>	0.1	0.1	0.1	1.6	20.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	—
OH <sup>-</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
HS <sup>-</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
HSO <sub>4</sub> <sup>-</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	39.1	52.9	1.153	—	—	137.4	128.3	110.5	1,178	9.8	139.5
HPO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	—	54.9	6.1	—	—	—	—	—	—	—	—
AsO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	85.4	—	6.0	1,471	701.7	177.0	15.3	36.6	12.2	85.4	479.0
CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	—	9.0	—	136.1	—	—	36.0	54.0	6.0	24.0	30.0
HSiO <sub>3</sub>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SiO <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
BO <sub>2</sub>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub>	17.7	114.4	158.3	57.5	95.4	59.2	107.3	127.4	21.5	3.9	62.9
HBO <sub>2</sub>	3.3	10.9	7.7	80.0	92.0	8.8	302.4	280.5	4.4	14.2	24.1
HAsO <sub>2</sub>	—	0.2	—	—	0.1	—	4.9	5.5	—	—	—
CO <sub>2</sub>	1.2	0.8	—	10.9	52.2	32.9	0.2	0.7	0.1	0.2	7.0
H <sub>2</sub> S	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6	—
泉質	温泉法の鉱泉に該当せず	ナトリウム-硫酸物泉(低張性-弱アルカリ性-高温泉)	カルシウム-硫酸物泉(低張性-弱アルカリ性-高温泉)	ナトリウム-塩化物物泉(低張性-アルカリ性-高温泉)	ナトリウム-塩化物物泉(高張性-中性-冷鉱泉)	単純温泉(低張性-中性-高温泉)	含硫酸-ナトリウム-塩化物物泉(低張性-アルカリ性-高温泉)	含硫酸-ナトリウム-塩化物物泉(低張性-弱アルカリ性-高温泉)	カルシウム-硫酸物泉(低張性-弱アルカリ性-高温泉)	単純硫酸物泉(低張性-中性-冷鉱泉)	ナトリウム-硫酸物泉(低張性-弱アルカリ性-高温泉)

分析番号	544	545	546	547	548	549	550
湧出地	南秋田郡五城目町馬場字保呂瀧沢	南秋田郡五城目町富津内中津又字宿多羅川	北秋田郡北内町属田字本道端地内	由利郡金浦町金浦字組々律原区	本荘市戸町字尾崎27	本荘市戸町字大境4	仙北郡太田町中里字新屋敷96-1
試験年月日	S. 56.10. 2	S. 56.10. 2	S. 57. 1. 20	S. 57. 1. 12	S. 57. 1. 19	S. 57. 1. 19	S. 57. 3. 12
温度	12.0	14.5	34.5	53.0	37.0	11.0	46.5
気温	19.0	17.5	3.5	8.2	1.2	-2.0	17.0
PH	7.5	9.2	9.2	8.4	8.5	5.7	8.0
蒸発残留物	277	1,226	2,023	21,432	2,907	214	3,523
H <sup>+</sup>	—	—	—	—	—	—	—
Li <sup>+</sup>	—	—	—	—	—	—	—
Na <sup>+</sup>	24.5	476.0	328.0	6,820	895.0	35.5	860
K <sup>+</sup>	1.3	0.9	1.8	58.2	46.4	1.9	15.2
NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	0.2	1.2	0.2	333.3	0.7	—	0.2
Mg <sup>2+</sup>	2.0	0.5	4.8	17.1	1.6	5.7	8.4
Ca <sup>2+</sup>	46.8	1.5	256.0	22.4	11.2	6.7	297.4
Sr <sup>2+</sup>	—	—	—	—	—	—	—
Ba <sup>2+</sup>	—	—	—	—	—	—	—
Al <sup>3+</sup>	0.1	—	—	—	—	—	—
Cr <sup>6+</sup>	—	—	—	—	—	—	—
Mn <sup>2+</sup>	0.2	—	—	0.2	—	0.1	2.3
Fe <sup>2+</sup>	0.1	—	0.1	5.7	0.1	20.5	5.5
Fe <sup>3+</sup>	—	—	—	—	—	—	—
Cu <sup>2+</sup>	—	—	—	0.3	—	—	0.6
Zn <sup>2+</sup>	—	—	—	4.7	—	—	14.2
F <sup>-</sup>	0.2	1.4	2.7	2.0	1.3	—	2.5
Cl <sup>-</sup>	19.5	196.8	24.8	10,090	1,081	67.4	1,205
Br <sup>-</sup>	0.1	1.5	2.0	18.9	3.4	0.1	2.5
I <sup>-</sup>	—	0.5	0.1	73.4	8.9	0.2	0.2
OH <sup>-</sup>	—	—	3.4	—	—	—	—
HS <sup>-</sup>	—	—	—	—	—	—	—
HSO <sub>4</sub> <sup>-</sup>	1.0	—	—	—	—	—	—
SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	79.5	1.7	1,238	—	1.6	25.5	889.9
HPO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	—	—	—	—	—	—	—
AsO <sub>4</sub> <sup>3-</sup>	—	—	—	—	—	—	—
HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	91.5	671.2	—	1,855	515.6	21.4	54.9
CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	0.2	132.0	12.0	96.0	54.0	—	6.0
H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	—	—	—	—	—	—	—
SiO <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	—	—	—	—	—	—	—
BO <sub>2</sub> <sup>-</sup>	—	—	5.4	—	—	—	—
H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub>	33.0	14.0	42.9	227.2	178.3	22.1	40.3
HBO <sub>2</sub>	11.0	19.7	—	384.6	17.5	4.4	17.5
H <sub>2</sub> AsO <sub>4</sub>	—	—	—	1.5	—	—	—
CO <sub>2</sub>	—	1.0	—	—	7.6	—	1.3
H <sub>2</sub> S	0.2	—	0.2	—	—	—	—
泉質	温泉法の鉱泉に該当する	ナトリウム-炭酸水素塩-塩化物泉(低アルカリ性-冷鉱泉)	ナトリウム-カルシウム-硫酸塩泉(低アルカリ性-冷鉱泉)	ナトリウム-炭酸水素塩泉(高アルカリ性-高温泉)	ナトリウム-塩化物-硫酸塩泉(低アルカリ性-弱アルカリ性泉)	単純鉄-冷鉱泉(低張性-弱酸性-冷鉱泉)	ナトリウム-カルシウム-塩化物-硫酸塩泉(低張性-弱アルカリ性-高温泉)



環境衛生科

表1. 廃棄物関係検査実績

検査対象	管轄保健所 検査項目	鹿	大	鷹	能	男	秋	五	本	矢	大	角	横	湯	計
		角	館	巣	代	鹿	田	城	荘	島	曲	館	手	沢	
ごみ焼却施設放流水	Pb, Cd, CN, Hg	3	1	3			2	1	1			1			12
最終処分場浸出液処理設備の放流水又は周縁浸出液	Pb, Cd, CN, Hg	1	2	1	2	1	1		4		2	2	2		18
有害物質排出事業所の汚泥鉍さい溶出及び全量	Pb, Cd, CN, Hg, As				2		6		9	1	3	2	4	2	29
保全センター放流水	PH, Pb, Cd, CN, Hg, As, Org-P, T-N, Cr <sup>6+</sup> , Cu, Zn										6				6

表2. 鉍害検診者数

市町村名	地 区 名	1次検診A	1次検診B	2次検診	3次検診
小坂町	藤原, 鴫, 鳥越, 細越, 濁川, 牛馬長根	18	7	5	
鷹巣町	今泉	1			
八森町	椿, 椿台, 発盛	14	2		
藤里町	藤琴	1			
能代市	中川原, 天内, 朴瀬	11	1		
秋田市	川尻	3			
増田町	在城, 亀田, 半助, 本町, 田町, 樋場, 八木, 関/口	8	4	2	
十文字町	梨木, 下仁井田, 上仁井田	4	3	2	
平鹿町	下籠田, 下醍醐, 野中	4	4		
湯沢市	新城				1
計10市町		64	21	9	1

上記表は追跡検診者を含む

環境衛生科

表1. 飲料水検査実績（理化学検査）

件数	月別												計
	55年 4	5	6	7	8	9	10	11	12	56年 1	2	3	
精密検査	0	0	33	37	32	37	9	52	34	0	7	0	241

表2. 飲料水精密検査成績（理化学検査）

基準値				不適項目内訳									
				10 mg/l 以下	10 mg/l 以下	0.3 mg/l 以下	0.3 mg/l 以下	1.0 mg/l 以下	500 mg/l 以下	5.8 以上 8.6 以下	異常 でない こと	5度 以下	2度 以下
管轄 保健 所	受 付 件 数	不 適 件 数	合 格 率	硝 酸 性 窒 素 及 び 亜 硝 酸 性 窒 素	過 カリ ウム 消 費 量	鉄	マ ン ガ ン	亜 鉛	蒸 発 残 留 物	PH	臭 気	色 度	濁 度
鹿角	6	2	66.7					1 (16.7)				1 (16.7)	1 (16.7)
大館	8	0	100.0										
鷹巣	10	1	90.0									1 (10.0)	1 (10.0)
能代	34	2	94.1		1 (2.9)		1 (2.9)					1 (2.9)	
五城目	2	0	100.0										
男鹿	4	1	75.0									1 (25.0)	1 (25.0)
秋田	18	7	61.1	2 (11.1)		1 (5.5)	1 (5.5)			2 (11.1)		5 (27.8)	1 (5.5)
本荘	7	1	85.7										1 (14.3)
矢島	3	0	100.0										
角館	6	0	100.0										
大曲	54	27	50.0		1 (1.8)	9 (16.7)	6 (11.1)		2 (3.7)	7 (13.0)	2 (3.7)	16 (29.6)	13 (24.1)
横手	70	24	65.7	3 (4.3)		2 (2.8)	16 (22.8)			6 (8.6)		3 (4.3)	4 (5.7)
湯沢	19	2	89.5							1 (5.3)			1 (5.3)
計	241	67	72.2	5 (2.0)	2 (0.8)	12 (5.0)	24 (10.0)	1 (0.4)	2 (0.8)	16 (6.6)	2 (0.8)	28 (11.6)	23 (9.5)

注：（ ）内は検査件数に対する%

## B. 行政依頼検査

### 細菌科

表1. 食中毒及び食品の細菌学的検査実績

検査項目	月 別												計
	S <sub>4</sub> <sup>56</sup>	5	6	7	8	9	10	11	12	S <sub>1</sub> <sup>57</sup>	2	3	
食 品 (食中毒)						3							3
糞 便 ( " )						3							3
冷凍輸入魚	コレラ菌			5	5								10
	NAGビブリオ			5	5								10
	サルモネラ菌			5	5								10
天然カキ	病原大腸菌			6	2								8
菌	ウエルシュ菌										2		2
株	ウエルシュ菌										3		3
	ブドウ球菌						7	8					15
	腸炎ビブリオ				2	4							6
計				21	19	10	7	8			5		70

表2. 細菌性伝染病に関する細菌学的検査実績

検査項目	月 別												計
	S <sub>4</sub> <sup>56</sup>	5	6	7	8	9	10	11	12	S <sub>1</sub> <sup>57</sup>	2	3	
コレラ菌	糞便											2	2
"	菌株						1						※ 1
腸チフス菌	"						1					1	2
パラチフスB菌	"						1						1
サルモネラ菌	"	1			1	1	1					1	5
溶連菌	"		5									1	6
赤痢菌	"				1								1
"	糞便				1								1
計		1	5		3	1	4					5	19

※ NAG26

表3. 百日咳患者血清学的病原検査

疾患	年次別 月別	56年									57年			計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
被検患者		7	4	2	6	7	3	3	2	2	1	3	2	42
凝集素価測定	百日咳と確定(%)*	2 (28.5)	2 (50)		5 (83.3)	1 (14.3)		2 (66.6)	1 (50)			2 (66.6)	2 (100)	17 (40.5)
	百日咳の疑い(%)*	1 (14.3)		1 (50)		3 (42.9)					1 (100)	1 (33.3)		7 (16.7)
	計(%)*	3 (42.9)	2 (50)	1 (50)	5 (83.3)	4 (57.1)		2 (66.6)	1 (50)		1 (100)	3 (100)	2 (100)	24 (57.1)

\* いづれも被検者数に対する比率

表4. その他の行政依頼検査実績

検査項目	件数	備考
淡水魚中の 残留抗生物質	5	環境衛生課
A群溶連菌 T凝集素測定	2,200名	仙台市衛研

表5. 微生物感染症定点観測に関する細菌学的、血清学的検査実績

検査項目	月別	S56	5	6	7	8	9	10	11	12	S57	2	3	計	備考
		4	1												
溶連菌	菌分離	44	36	48	34	34	28	31	46	29	24	48	48	450	由利組合総合病院 秋田組合総合病院 大館市立総合病院
	菌型	5	2	4	1			2	5	5	2			26	
百日咳	菌分離			1	1	2	2	1	2					9	
	抗体測定	3	4	1	8	1	4	1	2	6	2	3		35	
下痢症	菌分離	11	6	9	14	5	2	6	4	4	3	14		78	
	マイコプラズマ	2											2	4	
その他		42	36	56	34	34	29	32	46	28	23	48	48	456	
計		107	84	119	92	76	65	73	105	72	54	113	98	1,058	

ウイルス科

表1. ウイルス性疾患に関する病原検索実績

疾病群	かぜ様疾患(集団カゼ)	合計
被検体数	139名	139名
病原診断 (決定内容)	インフルエンザB型：97名 RSウイルス：4名	101名 病原診断率：72.7%

表2. 流行予測調査に関する検査実績

事業区分	調査地区	調査対象	調査年月	検体数	調査成績
ポリオ感受性	大曲市	0～38才	56.7	174	陽性率 { I型 73.6% II型 94.8% III型 63.8%
日本脳炎感染源	河辺町	豚 (生後 5～8月)	56.7 8 9	59 120 154 } 333	陽性率 { 0.0% 5.8% 8.4%
インフルエンザ感染源	県内全域	風邪様患者	56.4～6 56.57 10～3	78	陽性率 89.7% (B型インフルエンザ罹患)

表3. 微生物感染症定点観測実績

疾患名	被検患者数	確定又は推定数(%)	確定又は推定された主な病原微生物
インフルエンザ	125	63 (50.4)	インフルエンザB型, インフルエンザAH <sub>3</sub> 型, アデノ, パラインフルエンザ, A群溶連菌 (T-12, 13, 14, 25)
肺炎	3	1 (33.3)	RSウイルス
百日咳	37	19 (51.4)	百日咳菌, パラインフルエンザ
気管支炎	22	3 (13.6)	コクサッキーA-2, 6, アデノウイルス
上気道炎	229	99 (43.2)	アデノウイルス, インフルエンザB, インフルエンザAH <sub>3</sub> 型, ヘルペス, エコ-14型, コクサッキーB-2, コクサッキーA-5, 6, 10, 百日咳菌, ムンプス, A群溶連菌 (T-12, 13, 25), B群溶連菌
下痢	96	45 (46.9)	ロータウイルス, キャンピロバクター, アデノウイルス, インフルエンザB型, コクサッキーB-2, エコ-14型, ポリオ, サルモネラ菌
口内炎	20	13 (65.0)	単純ヘルペスウイルス, コクサッキーA-10
腸炎	13	0 (0.0)	
風疹	33	17 (51.5)	風疹ウイルス, アデノウイルス, A群溶連菌 (T-12)
麻疹	26	11 (42.3)	麻疹ウイルス
猩紅熱	12	6 (50.0)	A群溶連菌 (T-12, 14, 型不明)
水痘	12	3 (25.0)	水痘ウイルス
その他の発疹症	27	10 (37.0)	A群溶連菌 (T-12, 25, 型不明) 単純ヘルペス, コクサッキーA群ウイルス, 白色ブドウ球菌
耳下腺炎	20	13 (65.0)	ムンプスウイルス
無菌性髄膜炎	6	3 (50.0)	エコ-25型, 単純ヘルペスウイルス
その他の疾患	24	4 (16.7)	アデノウイルス, インフルエンザB型
合計	705	310 (44.0)	病原確定42.8%, 病原推定0.8%

食品衛生科

表1. 食品試験実績

品名	検体数	有害物質										計		
		PCB	農薬	水銀	カドミウム	亜鉛	銅	鉛	砒素	合成抗菌剤	毒性		その他	
母乳	6	6	66											72
魚介類	83			2						10	91			103
海藻	4										8			8
食肉等	2	2												2
野菜等	12				12	12	12	12	12				24	84
果実	26				26	26	26	26	26				52	182
鶏卵	2	2												2
その他	59												59	59
計	194	10	66	2	38	38	38	38	38	10	99	135	512	

注：母乳についてのPCB，農薬の試験成績は，表2.に示し，魚介類毒性検査については資料の部（P～89）で報告する。

表2. 母乳中のPCB残留農薬成績

(単位 ppm)

検体番号	住所	試料提供病院名	母乳採取年月日	脂肪量(%)	全乳濃度			
					PCB	総BHC	総DDT	ディルドリン
1	秋田市	日赤病院	56. 8. 12	4.1	0.01	0.043	0.017	不検出
2	"	"	"	3.2	0.02	0.022	0.060	"
3	"	"	"	6.1	0.02	0.055	0.052	"
4	大瀧村	湖東病院	56. 8. 5	3.1	0.01	0.027	0.031	"
5	五城目町	"	"	5.3	0.02	0.031	0.052	"
6	八郎瀧町	"	"	5.3	0.02	0.091	0.067	"

表3. 有害家庭用品検査実績

「有害家庭用品を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づきこれまで検査して来て問題のあった衣類等のホルムアルデヒド含量を依頼により検査した。

○ 乳幼児用品のホルムアルデヒド検査

品名	おしめカバー	よだれ掛け	寝衣	外衣	帽子	手袋
検体数	10	10	4	10	10	2

※ いずれも基準値以下であった。

○ 大人用品のホルムアルデヒド検査

品名	寝衣	たび	手袋
検体数	6	5	3

※ いずれも基準値以下であった。

○ 接着剤のホルムアルデヒド検査

接着剤 10件 ※ いずれも基準値以下であった。

注：詳しくは資料の部（P～95）で報告する。

成人病科

県公衆衛生課からの依頼による、脳卒中予防事後管理強化事業における3町村の成人病検診時の血清生化学的分析検査。  
脳卒中予防事後管理強化事業における血清生化学的検査成績表

項目	血清総コレステロール $mg/dl$			血清総蛋白 $g/dl$		
	例数	M ※	SD ※	例数	M ※	SD ※
昭和町	140	203	37.4	140	7.7	0.47
矢島町	125	202	34.7	125	7.7	0.53
西木村	273	185	35.0	273	7.2	0.42
計	538			538		

※ M：平均値      SD：標準偏差

母子衛生科

先天性代謝異常に関する依頼検査

検査対象疾患ならびに検査項目は次の如くである。

フェニルケトン尿症（フェニルアラニン）  
ホモシチン尿症（メチオニン）  
メイプルシロップ尿症（ロイシン）  
ヒスチジン血症（ヒスチジン）

ガスリー法

ガラクトース血症（ガラクトース・I・リン酸・ウリジルトランスフェラーゼ）→ポイトラー法、ペイゲン法（56年2月より）

クレチン症→相互生物医学研究所に依託（55年10月より）名簿、検体整理、結果発送は当科で行なう。



表 1. 昭和56年度先天性代謝異常検査実績

月	医療機関数	受付件数	検査結果				保留内訳		備考
			正常	疑陽性	陽性	保留	再検査依頼中	再採血依頼中	
4	36	758	757	1	0	0	0	0	疑陽性No.748 Phe. 4 mg/dl (山本組合総合病院でfollow)
5	34	817	815	0	0	2	0	2	
6	35	839	838	0	0	1	0	1	
7	36	867	865	0	1	1	1	0	陽性No.2682 クレチン症 (大館市立病院で治療中)
8	37	799	798	0	0	1	0	1	
9	36	817	816	0	0	1	1	0	
10	39	802	801	0	0	1	0	1	
11	34	689	687	0	0	2	2	0	
12	35	667	667	0	0	0	0	0	
57.1	37	838	838	0	0	0	0	0	
2	39	675	674	0	0	1	1	0	
3	38	798	797	0	0	1	0	1	
計		9,366	9,353	1	1	11	5	6	

医療機関実数 45      再検査延 111 件   未回収 5   回収率 95.5 %  
 再採血延 111 件   未回収 6   回収率 94.6 %

表 2. 再検査内訳 9336件中 (S 56.4 ~ 57.3)

月	ガスリー法					ペイゲン法	TSH	計	再検査のくりかえし		再採血と重なった数	未回収
	His	Met	Phe	Leu	Tyr				同じ項目	異なる項目		
4		1	1		5		2	9	1		0	0
5					4		5	9			0	0
6		1			2		9	12			0	0
7	1	2		2	4	1	2	12	2	1	3	1
8					3		5	8			0	0
9					3		1	4	2		0	1
10		1			3	1	2	7			0	0
11		2			6	1	2	11			0	2
12		1			4	4	2	11	1		0	0
1					1	2	3	6			0	0
2					2	1		3			0	1
3		3			2	2	2	9			0	0
計	1	11	1	2	39	12	35	101 (1.1%)	6	1	3	5

延再検査 111 件

表 3. 再採血内訳 9336件中 (S 56.4 ~ 57.3)

月	採血不足	又	ケ	低体重 哺乳不良	採血不備 (変質も含む)	計	再採血をくり かえした数	再検査と 重なった数	未回収
4		1		6		7			0
5	2	1		2	3	8			2
6	3	0		4	3	10			1
7	1	2		8	7	18		3	0
8		0		4	8	12			1
9		2		3	1	6	1		0
10	3	3		4	2	12			1
11	4	0		1		5			0
12		1		1	1	3			0
1		6		1	1	8			0
2		4		5		9			0
3	2	6				8	1		1
計	15	26		39	26	106 (1.1%)	2	3	6

延再採血数 111件

表 4. 保健所別受付件数 (S 56.4 ~ 57.3)

H・C	送付医療 機関数	56年 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	57 1	2	3	計
1鹿角	4	47	61	62	56	57	62	47	45	35	72	53	50	647
2大館	5	84	83	131	92	88	86	96	86	63	109	80	65	1,063
3鷹巣	5	43	54	58	63	56	60	50	45	57	52	42	58	638
4能代	6	106	161	143	152	151	126	137	120	105	152	109	136	1,598
5五城目	2	3	2	1	8	10	2	14	1	9	8	11	10	79
6男鹿	2	27	32	19	26	14	19	27	17	27	18	16	25	267
7秋田	21	448	424	425	470	423	462	431	375	371	427	364	454	5,074
計	45	758	817	839	867	799	817	802	689	667	838	675	798	9,366